

今週一枚:フィリピンのリゾートでみた夕日 2011年6月21日撮影

先週一枚は「マニラ湾の夕日」であった。

これを撮影した数日後、フィリピンのケソン州にある発電所への宿泊出張となった。

マニラから東南方向に車で約4時間のこの場所はタヤバス湾の小島のなかに位置している。

発電所は専用の宿泊設備をもつクラブハウスを対岸に有しており、殆どの発電所関係者は、ここから発電所専用フェリーで通勤する。

このクラブハウスは、リゾートホテルとしても、開放されており、我々ビジターも利用できる。

ここは、レストラン、バーやプール等の設備もさることながら、ホテル従業員の接客が素晴らしい。

何が素晴らしいか、といえば、挨拶とスマイルである。これに出会うと、ここに来てよかったと幸せな気持ちになるから不思議である。

マニラにあるファイブスターホテルのマネージメントの元に運営されており、さすがであると思わせるものがある。

しかし、フィリピン人はもともと愛想がよくてみな明るい。

彼らにとっては、しつけられなくても、いつもスマイルである。

このスマイルに、冗談でもいれてスマイルで返せば、フィリピンの生活は充実する。

写真は、また、夕日の風景となった。

仕事を終え、通勤フェリーでクラブに戻り、その周りを散歩しながら迎えた夕日である。

小島のさえずりしか聞こえない静寂のなかで、名も知らぬ山々の中に消えていく太陽。

独り占めしているこの景色、なんと贅沢なひとときであつたらうか。

